
雨

donki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨

【コード】

N3346Z

【作者名】

donki

【あらすじ】

私は立ってた、ずっとある景色の中に

しとしとと、雨粒が落ちる、
屋根から地面へ伝わる雨。

空を見上げれば、鉛色の雲の海。

私はこの風景に、美的な何かを感じざるを得ない。
昔からそうだった。

その時もしとしと、と雨粒が落ちていた。

気温は、15くらい、天気はもちろん雨、

その時も鉛色の海が私の上に広がっていた。

ひと気のない道、数mおきに突き出た電信柱、

凹んだカーブミラー、

落書きされたコンクリート、

そしてアスファルトの上に広がる水溜り、

全てが雨、鉛色の海から落ちてきた、雨によって見事に演出されていた。

それは私にとって安らぎを象徴するとともに、虚しさの化身でもあった。

私は立っていた、この演出、一つの作品の中に、背景の一部のように、

見ていた、ずっと、取り巻くものを。

その時、音がした。

鈍い音、ばすつて音が聞こえました。

何がおきたのかは、私には分かりませんが、

ただわかる事は、あの時と全く同じように立っています、同じ景色の中に、ずっと立っています。

そしてこの鉛色の雲の海を見つめています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3346z/>

雨

2011年12月11日15時49分発行